

保健体育

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領（平成29年3月）に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通 観 点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。
	(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
共通 観 点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独 自 観 点	(4)	健康な生活と疾病の予防及び健康と環境について、基礎的・基本的な内容を科学的に思考し、理解することができるよう工夫されているか。
	(5)	心身の機能の発達と心の健康について、理解を深めるとともにストレスに適切に対処することができるよう工夫されているか。
	(6)	傷害の防止について、理解を深めるとともに応急手当を適切に実践することができるよう工夫されているか。
	(7)	運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方、文化としてのスポーツの意義について理解することができるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通 観 点	(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

保健体育

観点		発行者	東 書	大日本
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。		口絵では、保健体育と「SDGs」「テクノロジー」「情報」との関連を示すことで、予測困難な時代においても豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現していく態度を育成できるよう配慮されている。	口絵では、魅力ある写真と現代的なテーマを示し、興味・関心を引き出すことで、健康の保持増進及び豊かなスポーツライフの形成について理解しやすいように配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。		「自然災害による傷害の防止」では、気象災害時の「防災タイムライン」を示すことで、長崎県でこれまで起きた災害を想起しながら、災害被害を予測し、的確に行動できる力を高める配慮がされている。	本県ゆかりのスポーツ選手や部活動に取り組む本県の中学生の写真を掲載することで、スポーツに対する関心を高めるとともに、スポーツが豊かな人生に大きく寄与するものであることを理解できるよう配慮されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長				
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。		巻末には、保健分野の技能について、豊富な写真やイラストを示し、分かりやすくすることで、知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。	「リンク」表示を設け、他章の学習と関連付けて資料を示すとともに、章末の資料や「トピックス」を掲載することで、知識・技能を習得することができるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。		「巻末スキルブック」において「命や健康を守る」ためのスキルを示すことで、学習の目的や内容に合わせてスキルを選択・実践でき、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されている。	「心肺蘇生法」の学習では、紙面の折り込みを採用し、教科書を広げて全体を確認しながら実習を行えるようにすることで、効果的に思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。		学習過程を、見開きに「タイトル」「見つける」「学習課題・キーワード」「課題の解決」「広げる」と配置し一体感をもたせることで、見通しをもって主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。	各項目において本文や資料を活用して取り組む「やってみよう」「話し合ってみよう」等の活動を設定することで、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。
(4)	健康な生活と疾病の予防及び健康と環境について、基礎的・基本的な内容を科学的に思考し、理解することができるよう工夫されているか。		章末資料で「運動やスポーツと食事」としてスポーツ選手の食事について、科学的根拠を基に示された具体例を載せることで、食事の重要性を、自身の生活に関連付けて理解できるよう配慮されている。	「健康な生活と病気の予防」では、学習内容に関連した資料や図を豊富に載せることで、諸問題について科学的に判断し、協働的な学びを進めるための工夫がされている。
			「飲料水の衛生的な管理」では、水の役割を体内での働きと飲料水としての役割に明確に分けることで、生命維持や健康で水が果たす役割を適切な資料を基に理解できるように工夫されている。	巻末資料「循環型社会の実現に向けて」を図示することで、より良い社会を目指すために必要な個人の取組を明確にし、科学的に考えながら健康と環境を守る能力を身に付けることができるよう工夫されている。
(5)	心身の機能の発達と心の健康について、理解を深めるとともにストレスに適切に対処することができるよう工夫されているか。		「心身の機能の発達と心の健康」では、適切な資料を提示するとともに章末資料で性の多様性について触れることで、発達を個人差として捉え、課題を解決し理解を深めることができるよう工夫されている。	「心身の発達と心の健康」では、学習内容に関連した資料やイラストを豊富に載せることで、学習の課題を根拠に基づき解決することができるよう工夫されている。
			「巻末スキル」では、リラクゼーションの方法、インターネットによるコミュニケーションやトラブル等、ストレスへの対応を紹介することで、ストレスに対応する具体的な能力が身に付くように工夫されている。	「ストレスへの対処」として資料の中に具体的な方法を示すとともに巻末資料でリラクゼーションの方法を詳しく掲載することで、ストレスに対し適切な対処ができる能力が身に付くように工夫されている。
(6)	傷害の防止について、理解を深めるとともに応急手当を適切に実践することができるよう工夫されているか。		「自然災害による傷害の防止」では、共助の精神を強調しており、また、章末に防災タイムラインを載せることで、自身と家族を守る手段を身に付け実践力が育つよう工夫されている。	「自然災害による傷害の防止」では、過去の自然災害の脅威について挿絵を多く使って示すことで、不測の事態に備えるための知識と実践力を身に付けやすくなるよう工夫されている。
			本文の中で応急手当の意義や原則を簡潔に分かりやすくまとめており、また、詳しい実践として巻末に包帯法、心肺蘇生法等の手順をまとめてあることで、状況に応じた実践力を身に付けるよう工夫されている。	応急手当の意義や目的の基本事項を確実に押さえるとともに、心肺蘇生法の手順や熱中症の応急手当の様子を写真を使って示すことで、より具体的にイメージしやすいよう工夫されている。
(7)	運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方、文化としてのスポーツの意義について理解することができるよう工夫されているか。		「運動やスポーツの多様性」では、章末資料で、多様な関わり方や楽しみ方についての経験談を載せることで、自身のスポーツへの関わり方を具体的にイメージしやすくなるよう工夫されている。	「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」では、写真や資料、具体的な例を多く掲載することで、学習内容を効果的に理解し、自身に生かすことができるよう工夫されている。
			「文化としてのスポーツの意義」では読み物資料を効果的に使うことで、スポーツの教育的な意義や倫理的価値を理解し、「活用する」において関わり方を主体的に学ぶことができるよう工夫されている。	「文化としてのスポーツの意義」では、オリンピックやパラリンピックを取り上げることで、文化としての役割を理解し、「学びを活かそう」において関わり方を主体的に学ぶことができるよう工夫されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。		各項目において、読みにくい漢字に「ふり仮名」を付けることで、内容を理解しやすいよう配慮されている。	文章は生徒の発達段階を考慮し、平易な表現にしたり重要語句を太字にしたりすることで、内容を理解しやすいよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。		挿絵は、学習内容を的確に表現するとともに、生徒にとって親しみやすいものを掲載することで、学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。	グラフや表は、視覚的に捉えやすいよう掲載することで、学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。		各ページ、本文を左側、資料を右側に統一し、見やすく整理するとともに、レイアウトに一体感をもたせることで、読みやすくなるよう配慮されている。	見開きページで本文を左側、資料を右側に統一し、見やすく整理するとともに、構成を統一することで、読みやすくなるよう配慮されている。

観 点		発 行 者	大 修 館	学 研
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。		口絵「共生社会をつくるために」では、障害の有無や年齢、家庭環境など社会の多様化に触れることで、生き生きとした人生を享受することができる共生社会の実現を目指す態度を育成できるよう配慮されている。	口絵「よりよく生きる」では、様々な価値観や生き方に触れながら「生きる力」「自ら学び、自ら考える力」を向上させることで、夢の実現に向かうとする態度を育成できるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。		「地震災害から命を守る行動」では、ハザードマップの具体的な例を示すことで、長崎県でこれまで起きた災害を想起しながら、どのような知識と備えが必要か理解を深めることができるよう配慮されている。	本県ゆかりのスポーツ選手の写真を掲載することで、スポーツに対する関心を高めるとともに、スポーツが豊かな人生に大きく寄与するものであることを理解できるよう配慮されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長				
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。		各項目に「きょうの学習」「キーワード」を設定し、目標や学習を進めるにあたってポイントを明確にすることで、知識・技能を確実に習得できるよう工夫されている。	各項目の終末に「学びを生かす」を設定し、より実践的な課題に取り組ませることで、日常生活の課題に対応するとともに、知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。		「コラム」「事例」の読み物では、生活に関連した情報を豊富に掲載することで、学んだ知識を実生活に生かせるよう配慮するとともに、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	「ウォームアップ」で身近な話題を取り上げ、課題を発見し、「エクササイズ」では関連した課題に取り組み、課題解決能力を養うことで、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。		「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」のステップで学習の流れや系統性を示すことで、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	各項目の最後に「とりくめター」を設定し、学習に取り組む意欲・態度を自己評価し、記録させることで、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。
(4)	健康な生活と疾病の予防及び健康と環境について、基礎的・基本的な内容を科学的に思考し、理解することができるよう工夫されているか。		生活習慣病の種類やその原因、症状について図解を詳しく示すとともに、コラムで体験者の思いを掲載することで、内容を整理し、理解を深めることができるよう工夫されている。	適切で豊富な資料を提示し、「調和のとれた生活」ができてきているかのチェック表を示すことで、自身の生活から健康につながる課題を見出せるようにし、学習を深めることができるよう工夫されている。
			「健康と環境」の中で、気象情報の適切な利用を単元として取り上げ、有益な情報を適切に利用することで、熱中症を予防するなど具体的な実践力を身に付けることができるよう工夫されている。	「室内の空気の条件」では、具体的に二酸化炭素の濃度の増加量を算出させる問題をエクササイズとして使用させることで、「室内の空気の条件」に対する理解をより深めさせるよう工夫されている。
(5)	心身の機能の発達と心の健康について、理解を深めるとともにストレスに適切に対処することができるよう工夫されているか。		「心身の発達と心の健康」で学習内容の資料やコラムを詳しく掲載することで、興味・関心をもち、心身の発達についてより深く理解することができるよう工夫されている。	「探究しようよ!」という項目を設け、その中で性の多様性、ストレスチェック、コミュニケーションの方法など、現代の課題に対し深く学ぶことができるように工夫されている。
			「リラクゼーションの方法」で呼吸法、体ほぐし運動、筋肉をリラックスさせる方法を掲載することで、生徒が抱える諸問題について、具体的に対処方法を理解できるよう工夫されている。	「リラクゼーションの方法」を実技として詳しく掲載するとともに、「心と体のSOS」としていじめの問題に触れることで、生徒が抱える諸問題に適切に対処できるよう工夫されている。
(6)	傷害の防止について、理解を深めるとともに応急手当を適切に実践することができるよう工夫されているか。		傷害の防止について、様々な自然災害に被災した命を守る方法を、発生時の場所に応じて具体的に示すことで、予測不可能な事態での自助、共助の精神を学ぶことができるよう配慮されている。	「自然災害から身を守るために」では、様々な自然災害に対する備えとして「タイムライン」の作成を示すことで、状況に応じた安全を確保する能力を育てるよう工夫されている。
			応急手当について、本文で基本となる事象をしっかりと押さえるとともに技能のポイントを丁寧に示すことで、心肺蘇生法の実習の部分がより理解できるよう工夫されている。	「心肺蘇生法の実習」では、手順を図や写真で示すとともに、水の事故、熱中症についても丁寧に説明することで、状況に応じた技能を的確に学ぶことができ、実践力を身に付けるよう工夫されている。
(7)	運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方、文化としてのスポーツの意義について理解することができるよう工夫されているか。		「運動やスポーツの効果・学び方・安全」では、体力の要素、体力向上のための計画を例示することで、体力の要素だけではなく、効果的に体力を高めることを理解できるよう工夫されている。	「スポーツの多様性」では、「探究しようよ!」の項目でスポーツとの多様な関わり方と多様な楽しみ方の例を掲載することで、より理解しやすく自身の関わり方を決める手立てとして利用できるよう工夫されている。
			「文化としてのスポーツ」では、我が国のスポーツの基本的な施策について資料を使い説明することで、スポーツの意義を理解し、国際的なスポーツへの関わり方にも考えが及ぶよう工夫されている。	「文化としてのスポーツ」では、オリンピック、パラリンピックの歴史、日本との関わりについて挿絵を多く掲載し、説明することで、スポーツの役割、自身の関わり方を考えることができるよう工夫されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。		「きょうの学習」では、短い文を使って本時の学習課題を明確に示すことで、生徒の理解を図ることができるよう配慮されている。	各項目において、できるだけ平易で、理解しやすい文章で記述することで、意欲を高めることができるよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。		学習内容に応じた的確なイラストや写真を数多く配置することで、学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。	挿絵は、学習内容を的確に表現するとともに、生徒にとって親しみやすいものを掲載することで、学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。		「導入の発問」「資料」「まとめ」を薄い色の罫線で囲み、本文とはっきり区別することで、読みやすくなるよう配慮されている。	各章を色分けし、ページを開きやすくするとともに、本文をページの左側、資料を右側に配置することで、読みやすくなるように配慮されている。